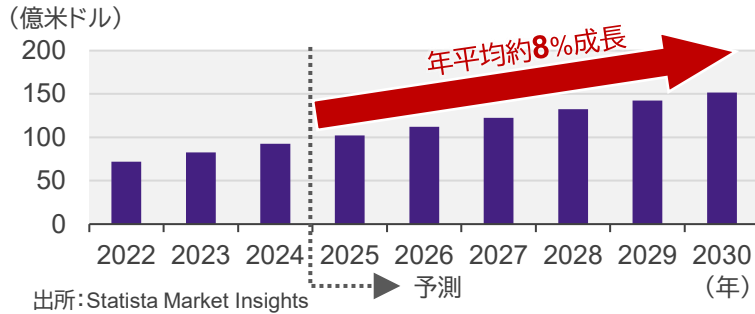


- インターネット上で映像や音楽を提供するストリーミングの世界市場規模は、24年の約93億米ドルが30年には約152億米ドルとなり、年平均約8%の成長が予測されています。
- 多チャンネル文化の米国では、従来型の有料テレビ(以下、TV)からストリーミングサービスへの移行が進んでおり、足元、世界市場の約30%を米国市場が占めています。
- 最近では、顧客離れを懸念した従来型の有料TV会社が、ストリーミングサービスに参入し始めています。

世界のストリーミング市場規模の推移

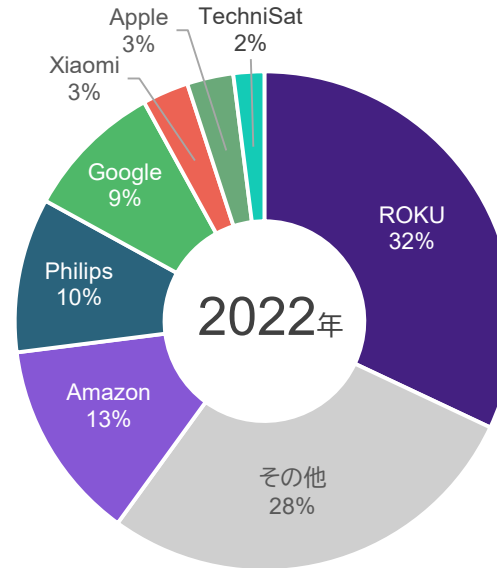
2022年～2030年(2025年以降は予測)



ストリーミングデバイスのブランドシェア

- ストリーミングデバイスとは、ユーザーがNetflixやHuluといった動画配信サービスのコンテンツをTVで視聴するための端末を指します。

世界のブランドシェア (外付けデバイスのみ)



ROKU(米国、デバイス:ROKU)

- 2002年にメディアプレーヤーを設計する会社として設立、2008年に最初のデバイスがリリース(Netflixの新サービス向け)され、古くから参入しています。
- 多くの動画配信サービスを横断的に視聴することが可能で、ユーザー数が多く、広告等の収入も伸びています。

Amazon(米国、デバイス:Fire TV)

- 最初のデバイスは、2014年に米国でリリース(日本は2015年)されました。
- Amazonのプライム会員であれば、別途料金なしでAmazonプライム・ビデオが視聴できます。

Philips(オランダ、デバイス:Hue Play HDMI Sync Box)

- BOXのHDMIポートにスマートフォンやタブレット、ゲーム機などを接続し、TVにコンテンツを映し出します。
- TVに映し出された映像・音楽とHueライト(スマート照明システムで使用される1,600万色のフルカラーLED照明)の明かりがシンクロし、没入感のある空間を体験できます。

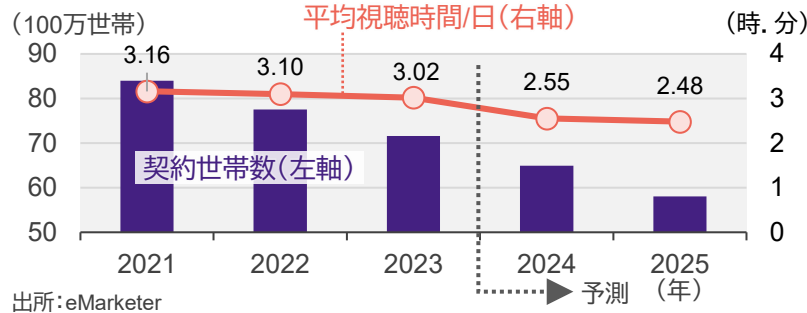
Google(米国、デバイス:Google TV)

- 最初のデバイスはインテル、ソニー、ロジクールと共同開発し、2010年に米国でリリースされました。
- 元々、スマートフォンの動画や音楽をTVに転送するデバイスであったChromecastの新しいモデルに搭載され、すべてのストリーミングを1画面で操作することができます。

米国の従来型の有料TV契約世帯数

- 最大市場である米国では、コンテンツ提供の制限やストリーミング利用者の増加などを背景に、ケーブルTVといった従来型の有料TVの契約世帯数や視聴時間が減少しています。

2021年～2025年(2024年以降は予測)



※上記は過去のものおよび予測であり、将来を約束するものではありません。

※公開情報など信頼できると判断した情報をもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成。情報の正確性・完全性について当社が保証するものではありません。

ページ記載の銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。